

外房大原のシヨウサイフグ 良型交じりでよひ調子!



▶船宿仕掛けはカットウ一本仕様、浅場ならオモリは25号



▶取材した敷嶋丸は2隻体制、フジヤマへ出船している



▲冬はフグが釣りたくなる季節



●大原のシヨウサイフグはこれから面白くなる

▲小型も交じる



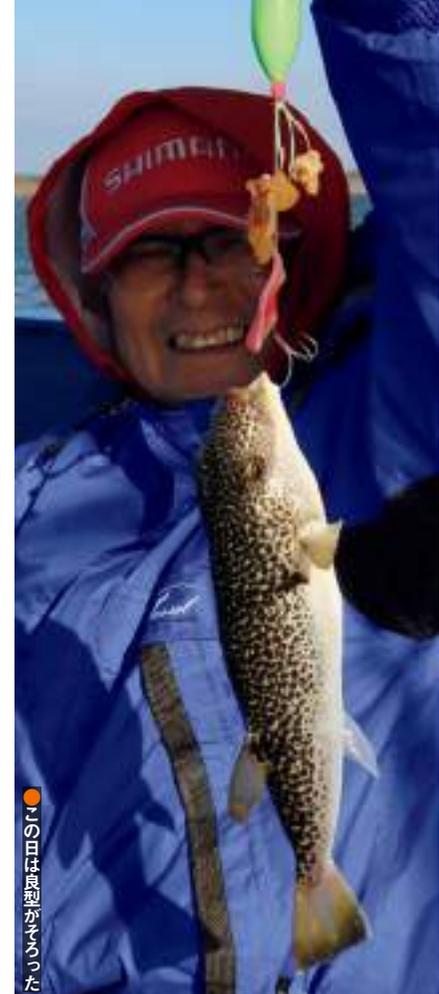
●好調時は朝のつちから食っている



▲アタリを取って掛けられると数はのびる



●シーズンは来年5月連休まで



●1日の釣果が凄かった



●二べが釣れた



●サハフグも増えている!?



●ハコギムシも



●ガンゾウピラメは定番外道

冷凍エビの付け方

敷嶋丸で販売しているエビエサはベトナム産の冷凍エビ。東京湾で使うアルゼンチンアカエビに比べ身がしっかりしているので、アカエビのように一度殻付きの背側に抜いて、といった縫い刺しにする必要はない。オキアミのように切り口からハリ先を入れ、腹側へ抜けばOK。最後に切り身でフタをしておくとボリューム感を出せるとともにエサ持ちもアップする。



▲付けエサは冷凍エビを使用



▲こんな感じで付けられればOK



◀尾羽根をカットして殻をむいておく



●ズシツとした重みもフグ釣りの楽しさ

冬はフグ鍋が恋しくなる季節。どうせなら自分で釣ったフグで暖まりたいという人にはシヨウサイフグ釣りがおすすめ。この釣りのメッカの一つ、外房大原ではここへきて模様が上向いている。取材日の釣り場は大原沖の水深5〜20メートル前後。このところは小型が多かったというが、新群れが入ってきたのか20〜30センチ前後の良型が目立った。

なお、ポイントによっては根周りも狙うので、そんな場所ではオモリを少し浮かせて釣ることがコツになる。
(詳細は52ページ参照)



◎外房大原港・敷嶋丸
山本 幸夫船長